



園長		主任		担任		
----	--	----	--	----	--	--

ねらい	・保育士や異年齢児との関わりを喜び、安心できる環境の中で自分の欲求を喃語などで表そうとする。
-----	--





月齢 年齢	3～6ヶ月未満	6ヶ月～9ヶ月未満	9～12ヶ月未満	1歳3ヶ月～2歳未満		
養護	・泣き声等に対応し、愛着関係を深められるようにする。	・睡眠リズムの変化に対応して、活動時間や内容を調整する。	・ <i>子どもが発する言葉に優しく応え、安心感を味あせようとする。</i>	・安心して欲求を表せるようにし、伝えたい気持ちを受け止める。	つ食 い育 てに	・感染症予防のために、食前には手洗い・消毒をする。 ・食べ物に興味をもち、楽しみながら食事をする。
教育	・音の出る玩具や柔らかな素材の物に興味を持ち、手を伸ばそうとする。	・安心できる環境の中で体を動かして遊ぶ。	・特定の保育士と喃語や言葉のやり取りを楽しむ。	・衣服の着脱に意識が向き、自分でしようとする意欲がわく。	育わ長 のた時 内容間 に保に	・夕方は、疲れが出る時間帯なので、ゆったりと甘えを受け止める。
					職 連員 携 間 の	・寒暖差があり、体調を崩しやすい時期なので、健康観察を丁寧に行う。
環境・援助・配慮	・寝返りやうつぶせの姿勢の時には顔がふさがれないよう確認する。	・甘えや不安・欲求をその都度受け止め、安定した気持ちで過ごせるようにする。	・子どもの指差しには一つひとつ言葉をかけて受け止め、関心が深められるようにする。	・他児との関わりに、より関心が持てるよう必要な仲立ちをしていく。	異年 齢交 流	・年上児には、まだ言葉で伝えられないことを知らせ、見守りながら関わりが持てるようにする。
					子育 て支 援	・園の安全対策を伝え、家庭での環境の見直しにつなげる。
自己評価						

園長	赤間		主任	本倉		担任	藤谷	加藤	
----	----	--	----	----	--	----	----	----	--

藤田 森 米田

ねらい	・紅葉、落ち葉など秋の自然に触れて遊ぶ。
-----	----------------------

内容 (養護・教育)	<p><養護></p> <ul style="list-style-type: none"> ・気温の変化に留意し、室内の環境及び衣服を調整して快適に過ごせるようにする。 <p><教育></p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちの存在を意識し、関わろうとする。 ・秋の散歩及び戸外遊戯を楽しむ。 	つ食育にて	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防のために、食前には手洗い・消毒をする。 ・季節感のある食材に親しみ、旬の食材を味わう。
		保育と配慮 長時間にわたる内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの情緒が安定するよう、できるだけ担当保育士が関わる。
		職員間の連携	<ul style="list-style-type: none"> ・体調を崩しやすい時期なので、一人ひとりの健康状態を職員間で共有し、体調の変化に適切に対応できるようにする。
環境・援助・配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の自然物を使った遊びや製作などを楽しめるよう、素材を準備する。 ・子どもの気持ちを受け止め、小さな成功体験をたくさんできるように援助する。 ・自分でしようとする気持ちを大切に、できた時には大いに褒め、自信や達成感につながる言葉掛けをする。 	異年齢交流	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ空間で一緒に過ごしながら年上児と触れ合うことを楽しめるよう仲立ちしていく。
		子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・うんどう会を通じて、園での子どもの様子を見てもらい、成長を実感し、子育ての意欲が高まるようにする。
自己評価			

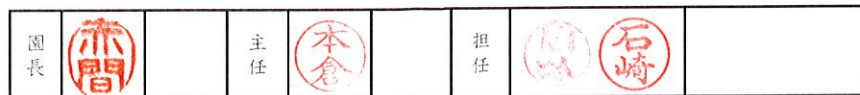
園長		主任		担任	 
----	--	----	--	----	--



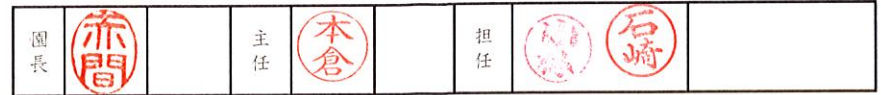
ねらい	・戸外でのびのびと体を動かして遊んだり、音楽に合わせて体を動かしたりすることを楽しむ。
-----	---

内容 (養護・教育)	<p><養護></p> <ul style="list-style-type: none"> ・やってみたいという気持ちを受け止め、安全に留意し、自分でやったという思いが持てるように援助する。 ・気温の変化に留意しながら健康に過ごせるようにする。 <p><教育></p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちと一緒に楽しく食事をしながら、いろいろなものを食べてみようとする。 ・自然に親しみながら草花の色や形に興味を示したり、季節の変化に気づいたりする。 ・家族ごっこ、仕事ごっこなど模倣遊びを楽しむ。 	つ食い育てに	<ul style="list-style-type: none"> ・こまめな手洗い・消毒を行う。 ・調理前の食材に触れる機会を作り、興味を持てるようにする。
		保育の 配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・気温差に留意し、衣服の調節を行う。
		職員 連携 の	<ul style="list-style-type: none"> ・園外活動で、安全に楽しめるように、役割を決めて確認し合う。
環境 ・援助 ・配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・気温の変化から体調を崩しやすい時期なので、衣服の調節や体調管理に配慮する。 ・日常的に起こりうる子ども同士のトラブルに丁寧に関わる。 ・模倣遊びが発展するよう小道具などを十分に用意して、遊びのイメージを広げる。 	異年齢 交流	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士に見守られ、クラスの枠を超え園庭や室内で一緒に遊べる時間を作る。
		子育て 支援	<ul style="list-style-type: none"> ・体調や気候に合わせて、調節しやすい衣服の用意を依頼する。 ・うんどう あそび が子どもたちの育ちに役立つ理由を伝えて期待が持てるようにする。
自己評価			

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 生活や遊びの中できまりやルールの大切さに気付き、守ろうとする。 季節の歌に触れ、秋の雰囲気を楽しむ。 		
内容 (養護・教育)	<p><養護></p> <ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの頑張りを見逃さず、わずかな成長でも認めていく。 	つ食育にて	<ul style="list-style-type: none"> 感染症予防のための手洗い・消毒の仕方を身に付ける。
	<p><教育></p> <ul style="list-style-type: none"> 鼻かみや手洗い・うがいしようとする。 自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを聞いたりする。 友だちと一緒にリズム運動や踊り、歌や合奏をする楽しさを味わう。 交通ルールを意識しながら安全に散歩する。 	延長保育と配達の延長時間内	<ul style="list-style-type: none"> 日が暮れるのが早くなり室内で過ごす時間が長くなる為、遊び方のルールなどを再確認し楽しく過ごせるようにする。
		職員携間の	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの様子をこまめに伝え合い、必要に応じて環境等を見直す。
環境・援助・配慮	<ul style="list-style-type: none"> 必要な運動用具を整え、子どもが意欲的に取り組めるようにする。 季節の歌を通して、友だちや保育士と秋の雰囲気を楽しめるようにする。 身のまわりのことを自分でしようとする姿を見守り、できた時には一緒に喜び、満足感を味わえるようにする。 	異年齢交流	<ul style="list-style-type: none"> 友達とイメージや思いを伝え合いながら様々な方法で表現することを楽しむ。
		子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> 衣替えをお願いすると共に、風邪予防対策を声掛けやホームページ等を用いて伝える。
自己評価			



ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 自分の健康に関心を持ち、手洗いやうがい、衣服の調節をすすんでしようとする。 自己を十分に発揮し、友だちと協調して生活したり遊んだりすることを楽しむ。 		
内容（養護・教育）	<p><養護></p> <ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの体調の変化にいち早く気付き、健康に過ごせるよう対応する。 子ども一人ひとりの姿を認め、満足感や達成感を味わえるよう配慮する。 <p><教育></p> <ul style="list-style-type: none"> 衣服の着脱や食事・排泄など健康な生活に必要な習慣を身に付ける。 友だちと楽しく生活する中で、きまりの大切さに気付き守ろうとする。 	ついでに 食育	<ul style="list-style-type: none"> 友だちや保育士との食事を楽しめるように旬の食材と一緒に味わいながら食事をする。
		長時間にわたる保育の内容と配慮	<ul style="list-style-type: none"> 気に入った玩具や自分の好きな遊びを見つけて、やりたい遊びが楽しめる場を作る。
		職員間の連携	<ul style="list-style-type: none"> 保育のまとめを活かし、職員間での情報共有をする。
環境・援助・配慮	<ul style="list-style-type: none"> 子ども同士と一緒に生活する楽しさを味わえるように集団あそびの場を設ける。 保育士の援助のもと、異年齢児とグループ活動やゲーム遊びでの交流を体験する。年長児への憧れとともに年下児の手助けとなれることを意識して、関わられるようにする。 	異年齢交流	<ul style="list-style-type: none"> 異年齢児との交流を体験できる場をつくる。(散歩、集団あそび等)
		子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの生活の仕方や活動について、共通認識をもてるように情報を共有する。
自己評価			



ねらい	仲間の必要性を実感し、自覚や自信を持ち、友達への親しみや信頼感を高める。		
内容（養護・教育）	<p><養護></p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標に向かい、最後までやり遂げる気持ちを育てるように認めたり、褒めたりしていく。 <p><教育></p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉や文字・記号などに関心を持ち、自分の思いを伝える手段として取り入れていく。 	ついでに 食育に	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちや保育士との食事を楽しくめるように旬の食材と一緒に味わいながら食事をする。
環境・援助・配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・皆で一つのことに取り組む楽しさを伝え、頑張っている姿を認め、諦めずに挑戦していくことの大切さを知らせていく。 ・自分とは異なる意見や思いを持つ友だちの存在を受け止め、生活や遊び、グループ活動において様々な感情の経験ができるようにする。 ・友だち同士で励まし合い、認め合えるよう見守っていく。 	長時間にわたる保育の内容と配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・気に入った玩具や自分の好きな遊びを見つけて、やりたい遊びが楽しめる場を作る。
自己評価			
		職員間の	<ul style="list-style-type: none"> ・保育のまとめを活かし、職員間での情報共有をする。
		異年齢交流	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢グループの中心となり、目標をもって活動に参加する。
		子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの生活の仕方や活動について、共通認識をもてるように情報を共有する。